

平成 28 年 10 月 22 日

渡邊 玄

日時 10 月 22 日 13:30~15:00

場所 上鶴間高校 視聴覚室

参加 荒木・渡辺・佐藤

## 保護者のための「スマホ&SNS」講演会 報告

### 目的

神奈川県下の「ネット利用実態に関する意識調査」から講師の分析を受けて、現役生の理解の一助にするため、PTA 主催の講習に麗鶴会として参加した。

### 概要

全国としては初のネット意識調査となる。県内 142 校あるうちの先行調査としての 8 校に名乗りをあげ、最終的に 1,2,3 年生の調査を受ける。「何か、いじめ的な問題が分かってしまった場合、対処しなくてはならない」ので調査にしり込みする学校もあるなか、今回は純粋にネットへの意識調査のデータ分析をしようという趣旨の元に全校調査が実現した。

#### 1) 未成年ネットリスク (安心は価値観であり、安全はリスクの見積もりである)

- a) 依存リスク
- b) 誘出リスク
- c) リベンジポルノ
- d) ワンクリック詐欺
- e) 名誉毀損

ネット被害 年間 1300~1400/届出が出ている件数

参考 [http://www.nikkei.com/article/DGXLASDG19H40\\_Q6A021C1CR0000/](http://www.nikkei.com/article/DGXLASDG19H40_Q6A021C1CR0000/)

#### 2) 利用実態

スマホ 持っている 97.3% 持っていない 2.4%

タブレット 持っている 18% 持っていない 51%

PC 持っている 16% 持っていない 18% 家族共用 68%

コンテンツの多くはライン、ツイッターなどの SNS

#### ○利用時間のピーク

2~3 時間と 10 時間というふたこぶのピークが現れる。

2,3 時間の利用は自分のやりたいことがあるから、2,3 時間しか出来ないのに比べて、10 時間からの利用は目標を見失っているという一面を考えることができる。

○具体的調査から見えてくるもの

ネット上の目撃質問をしのばせることで、現に回答者がネット被害を受けているかどうかを探る。  
知っている人から不愉快なメッセージを受け取ったことはありますか？  
知らない人から不愉快なメッセージを受け取ったことはありますか？  
ネット上で、これらを目撃したことはありますか？  
→実は回答者自身であることが多いという。(アンケート・ヒアリングを同時に行う)

**Ex グループ外し現象 40人学級で39人グループのラインが複数、存在する。**

○ネット友達の構成

いない 48.2% 1~5人 17.3% 6~10人 7.8% 100人以上 9.5%

○その友達に会うか？

会わない 77.6% 1度だけ 10% 3ヶ月に1度 6.1%  
1ヶ月に1度 2.5% 1ヶ月に1度以上 3.6%

○リスクを押さえる為の対策とは具体的に何か

禁止などの押さえ込みだと地下化し、リスク発生時に当事者本人が相談先が分からなくなる。  
家庭内ルールはあるかどうか。家庭の中で話し合える環境が整備されているかどうか。

○鶴校の実際

100人以上のネット友人が平均よりやや多い。学校満足度は平均より、やや多い。校長から聞くと、2,3年生は多いが、1年生の満足度はやや低い。スマホ利用時間は5時間が多く、休日での使用時間が平均より多い。

○まとめ

スマホの利用を超えるモチベーションがあるのか、どうか。他に目標があればスマホをながら利用する時間がおのずと自己管理されるが、それがないと、ダラダラと使用される側面が強い。自分自身が打ち込めるもの、夢中になれるもの、ひるがえって自分自身、プライドが持てるものが明確化されていないと、「ながら」利用が多くなる。トラブルが起きるリスクが0でない以上、親子で相談できる環境をどう構築していくか。

具体的に対応の1つとして、フィルタリング。もし、フィルタリングを越えて調べ物をしたい時は家族共用のPCの活用をさせる。布団の中で出来てしまうスマホは、その状態の中でリスクは発生し、判断力が低くなる環境で、そのリスクに陥ってしまう。

○今後のツールについて

今回のデータは3年、もたない。5年後には完全にインフラが変わってしまう。今後はVRとA.Iが席卷するが、問題化するリスクは予測不能である。

以上